

報 道 発 表

【令和3年7月28日】



尾道市企画財政部政策企画課
政策企画係 (担当) 應治、田坂
電話 [直通] (0848) 38-9316
[代表] (0848) 38-9111
[内線] 354
FAX (0848) 37-2740
E-mail kikaku@city.onomichi.hiroshima.jp
〒722-8501 尾道市久保一丁目15-1

件 名	尾道市実証実験サポート事業において、 経費支援等を行う実証実験2件に加えて、 8件 の実証実験を サポートすることと決定しました。
-----	--

本市では、地域課題の解決、豊かな市民生活の実現に向けて、スマートシティを推進しています。その取組のひとつとして、地域における先端的なデジタル技術の活用、新規産業の創出や産業の集積、ブランド力の向上を目的として、実証実験を公募しました。

令和3年7月21日に公表した2件に加えて、8件の実証実験について、シェアオフィスの利用や実証実験フィールドの提供等のサポートを行うことと決定しましたのでお知らせします。

1 決定事業者

	事業者名	取組内容
1	リマークジャパン株式会社 (東京都) 【問い合わせ先】 坂上譲二 03-5512-8274 joji.sakagami@remarkgroup.co.jp	自社開発の健康アプリを活用して高齢者の健康増進を促しつつ、家族や地域の方も参加、楽しくみんなで健康になるための競い合う仕組みを作りながら、アプリで活動状況を見ることで高齢者を見守る仕組みを作ります。
2	有限会社ニシマキ産業 (尾道市) 【問い合わせ先】 西牧修作 0848-29-7858 info@nishimaki.jp	道路草刈清掃車を使用し清掃活動を実施することで、道路環境の美化・改善を行い、市民、観光客にやさしいまちづくりを実現します。
3	DATA ビジネス株式会社 (東京都) 【問い合わせ先】 昆 凡子 03-6268-9768 soumu@databusiness.co.jp	尾道という地でこそ、真のDX人材を育てることができると確信し、中小企業の為の革新的DX化推進プラットフォーム「DX リソースシェアリングサービス」の導入を図り、中小企業の抱える課題の解決を目指します。
4	富士フィルムシステムサービス株式会社 (東京都) 【問い合わせ先】 佐伯 聡 090-7475-9059 satoshi.saeki.qz@fujifilm.com	罹災証明書発行の圧倒的な迅速化を通じ、被災があっても、いち早い生活再建支援が可能な、レジリエントな市民サービスの実現に貢献します。実現には先端テクノロジーの活用と各行政データの連携によりデータドリブンな業務プロセス改善を可能とします。
5	富士通 Japan 株式会社 (東京都) 【問い合わせ先】 藤本 学 084-923-7000 fujimoto.manabu@jp.fujitsu.com	老人ホーム等の高齢者施設事業者向けに、プライバシーに配慮した見守りサービスを提供し、急病の早期発見、見守り要員の作業効率化に貢献します。

6	株式会社 mobby ride (福岡県) 【問い合わせ先】 大久保希美 03-3282-4513 project@mobbyride.jp	人口非集中型地域でも採算性・オペレーションの両方から成り立つ、新しいモビリティシェアリングの形を検証・構築します。mobby の特徴である IoT/GPS 連携機能等を活かしてデータを取得し、まちづくりや福祉・教育の分野などへの活用につなげます。
7	株式会社 ジョルテ (東京都) 【問い合わせ先】 下花剛一 03-6804-6988 info@jorte.co.jp	商店街や学校などの地域コミュニティ内の情報や、観光客向けの情報をデジタル化し、身近なカレンダーに集約することで効率的に情報を届けます。生活者も来訪者も、普段気づかない街の隅々にある小さな魅力にも自然と気づける仕組みを提供します。
8	西日本旅客鉄道株式会社 (大阪府) 株式会社 ギックス (東京都) 【問い合わせ先】 渡邊智彦 070-8690-7860 tomohiko-watanabe@westjr.co.jp	尾道市を訪れる旅行者に、観光スポットや公共交通機関のフリーパスを個人の嗜好に合わせて AI (機械学習) を活用したスタンプラリーを通じて提案し、回遊や観光消費、公共交通機関の利用促進等に関する実証実験を実施します。

2 事業スケジュール

令和3年8月から令和4年2月 実証実験期間
令和4年3月(予定) 成果発表会

3 最終結果

- ・経費支援を含むサポートを行う実証実験 2件
- ・経費支援を含まないサポートを行う実証実験 8件
- ・不採択 1件

4 経費支援等を行う事業者(補助金額 各120万円)(7月21日公表済み)

	事業者名	取組内容
1	株式会社スペース・バイオ・ラボラトリーズ (広島県) 【問い合わせ先】 河原裕美 082-257-1501 yumi@spacebio-lab.com	開発中の歩行評価システムによる「歩行能力の見える化」と、歩行補助装置 RE-Gait による「歩行能力の改善」に関する実証実験を行い、フレイルや脳卒中などで歩行に不安のある方の「歩ける」をサポートするシステム構築を目指します。
2	株式会社 Synspective (東京都) 【問い合わせ先】 熊崎勝彦 03-6811-1355 press@synspective.com	Synspective は、内閣府 ImPACT プロジェクトの成果を応用した独自の小型 SAR 衛星により高頻度観測を可能にする衛星群を構築し、衛星データを活用したソリューション事業を展開しています。今回の実証では減災・防災や環境活動含め、自治体・行政支援における衛星データ活用の可能性を探ります。